



努力が「宝物」に!



8月21日から24日まで、大阪市のヤンマースタジアム長居で行われた「第46回全日本中学校陸上競技選手権大会」の四種競技(110mハードル、砲丸投、走高跳、400m)に出場し、全国の中学生アスリートを相手に健闘しました。



幼いころからスポーツ万能

ご両親の影響もあり、幼い頃からスノーボード、ウェイクボード、柔道など様々なスポーツを経験してきた祐人さん。柔道は、現在も道場に通い、県ベスト8の実力です。

悔しさをバネに

中学生になり本格的に陸上競技を始めた祐人さん。1年生の秋には100mの選手として、県大会に出場。しかし、2年生では県大会に出場できず、「悔しい思いをした」と振り返りました。四種競技は、2年生の夏から始め、1か月後の新人戦で地区記録を更新、2か月後の県大会では2位となりました。そして、今年7月の県大会でも2位となり、見事に全国大会出場の際記録を突破し、全国大会へ出場。この結果に祐人さんは、「陸上部の顧問の先生をはじめ、中学校の仲間や先輩、OBから、様々なことを教えてもらった。とても感謝しています」と言います。

初めての全国大会

「緊張せず、楽しむことができた」という全国大会。「全国大会出場は貴重な経験になりました。上位者が輝



たけしまゆうと 竹島祐人さん

鶴ヶ島中学校(3年生)陸上部所属
令和元年度埼玉県学校総合体育大会中学校陸上競技の部・四種競技第2位
第46回全日本中学校陸上競技選手権大会出場



いて見えた。これから1番を目指したい」と目標を語ってくれました。

全国大会には、ご両親も応援に駆けつけ、祐人さんは、とても心強かったそうです。練習や試合をビデオで撮影して一緒に分析してくれるお父さん、朝早くから食事を用意し、寝坊しそうなときに起こしてくれるお母さん。「両親にはとても感謝しています。少しは恩返しができたかな」と照れくさそうに話してくれました。

「いま」と「これから」

「今はケガをしない体づくりと走力の強化を目指してトレーニングしています。基礎力をもっと向上させ、技術はそのあとに身につけていきたいと思っています。努力することが大切であり、努力したことが『宝物』になると思っています。陸上競技に限らず、これから何事も楽しみながら頑張っていきたい。高校でも陸上競技を続けます。ただ、高校生になると八種競技になるんですけど(笑)」と明るく、力強く話してくれました。

穏やかな中にも強い気持ちを感じられる祐人さん。今後のさらなる活躍が期待されます。

編集後記

地球温暖化対策でいちばん大きな課題が二酸化炭素の排出量の削減だと言われています。冷暖房の温度を控えめに設定する、長時間使わない電化製品はコンセントを抜く、自家用車の使用を控えて、つるバス・つるワゴンや電車、自転車を利用する。自分も身近なこと、できることから実践したいと改めて思いました。ご意見・ご感想は秘書広報課広報聴担当へ
✉10200001@city.tsurugashima.lg.jp



すずきあかし
鈴木燈ちゃん(9か月)
“ママが作った歯固めを
カミカミしてるよ☆”



てらしまあおい
寺島青以ちゃん(4歳9か月)
緋日希ちゃん(2歳7か月)
白翔ちゃん(6か月)
“弟のお食い初め☆弟が大好きな2人♥”